

## JETOB による総務省副大臣訪問とボランティア活動

業務部企画調整課

JETAA<sup>1</sup>国際委員会が平成 23 年 10 月 21 日（金）、22 日（土）にクレア本部で開かれました。世界 13 の国と地域の JETAA 各支部の代表と JETAA インターナショナルの役員の計 19 名が参加したこの会議では、JETAA 各支部の日頃の活動のほか、東日本大震災の被災地に対する支援活動の概要と今後の予定についても意見交換されました。会議にはまた、被災地に果物などを届けるボランティア活動を行う現役 JET プログラム<sup>2</sup>参加者（秋田県由利本庄市のポール・ヨーさん）も参加し、日頃の取り組みについて報告をしてくれました。

一行はまた、やはり JETOB のジェームス・ギャノン氏（米国法人日本国際交流センター事務局長、平成 23 年 9 月 8 日に開催された「JET プログラム 25 周年シンポジウム」における基調講演者）とともに東日本大震災の被災地（岩手県陸前高田市）に赴きボランティア活動を行いました。それに先立ち、10 月 21 日午後には、JET プログラムを所管する 3 省（総務省、外務省、文部科学省）を訪問し、総務省では黄川田徹副大臣（岩手県陸前高田市出身）を表敬訪問し、副大臣からは、被災地では行政・住民が一体となって復興に向けて熱い思いで努力をしていること、こうした熱意を汲んだボランティア活動への謝意及び激励とともに、JETAA から被災地の教育面に対する支援へのお礼の言葉とともに、会津塗りの写真立てと、陸前高田市内の女性が作ってくれた「お手玉」をおみやげにいただきました。

### 岩手県陸前高田市の住宅跡地でのボランティア

一行は、会議終了後の 22 日にバスで東京を出発し、翌 23 日（日）朝、秋田県などの東北地方から合流した現役 JET 参加者とともに北上市内から移動しました。陸前高田市内は、8 月にスーパーが開店するなど復興に向けた足取りが見られますが、海岸付近の旧市街地には地盤沈下の結果海水が浸水したり瓦礫や廃車などが集められたりし、7 ヶ月以上経った今も被害の大きさを伝えています。午前 9 時前に「陸前高田市ボランティアセンター」で受け付けを済ませ、現場へと直行しました。現場は海岸から数百メートル離れた住宅跡地で、「燃えるもの」と「燃えないもの」に分別する作業を行いました。OB 達は、前日の雨で足場の悪い中、地中に埋まっているトタン屋根、柱、畳などに、



漁船を繋いでいたであろう太いロープを括り付け、力を合わせて引っ張り出しました。

この現場には、近隣から参加されたボランティアの方々もいらっしゃいましたが、OB達の力強い行動に感嘆の声を上げていました。また、中学生のお子さんの学生服や氏名のゴム印、参考書、浴衣の生地や花瓶なども発見され、あの日以前には、どこにでもある家庭生活が営まれていたことが伺えます。

陸前高田市は、アメリカ出身のJETであったモンゴメリー・ディクソンさんが殉職された場所でもあります【詳細はCLAIRメールマガジン vol.14(2011年6月10日)参照】。このボランティア活動に参加させてもらった筆者も、作業中は慣れない力仕事に精一杯でしたが、後になってみると、このお子さんは、モンゴメリーさんの教え子だったのだろうか、だとしたらモンゴメリー先生とどのような思い出を作ったのだろうか、今はどこか別の場所で新しい学校に通っているのだろうか、という思いが頭を過ぎります。



### 陸前高田市の市長およびALTとの意見交換

約5時間のボランティア活動の後、一行は陸前高田市の戸羽太市長を訪問しました。陸前高田市からはこの他、久保田崇副市長、金教育委員会次長、現ALTのションさん、「陸前高田ふるさと大使」である同市出身員の村上清氏も同席しました。自らのご家族も被害に遭われた戸羽市長は、前日(10月22日)にようやく合同慰霊祭の開催にこぎ着けたことに触れながら、今後の復興にあたっては子供達の英語教育に力を入れたいと力を入れますとともに、JETAA各支部による市内の子供達への様々な支援活動に謝意を表されました。また、今夏にアメリカ(アトランタ)から参加したJETプログラムALTのシェーンさんは、「被災地への参加にあたって不安はなかった。むしろ、この場所で自分が何ができるかを考えた」と語っていました。

OB達と市長の活発な意見交換の後、市役所を出発したのはすっかり暗くなった17時30分過ぎでした。津波に洗われた4階建ての前市役所から移転した高台の仮設市役所は、こうこうと電気がつき、市役所職員の方々の熱気が伝わってきました。

陸前高田市を後にしたOB達の中には、JET 時代に過ごした自治体を訪問した方々も多くいました。「日本のふるさと」ではどんなドラマが待っていたのでしょうか。この続きは、次号以降でお伝えしたいと思います。

(谷 企画調整課長 千葉県派遣)

---

<sup>1</sup> JETAA (JET Alumni Association : JET プログラム同窓会) は JET プログラムを終了した卒業生有志を中心に平成元年に構成された親睦団体です。JETAA は日本と JET プログラムに参加している諸国との相互理解を深めることを目的として活躍をしています。現在 JETAA の活動は 17 の国と地域にわたり、支部数は 52 支部、会員数は 2 万 4 千名以上となっています。

<sup>2</sup> JET プログラム (The Japan Exchange and Teaching Programme : 語学指導等を行う外国青年誘致事業) は、外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流を推進することを目的として世界各国の外国青年を各地域に招致する、世界最大級の国際交流事業です。CLAIR では、総務省、外務省、文部科学省と連携し、JET プログラムを推進しています。

